

日本語英国教会ニュースレター

第 88 号 2017年6月発行

◆◇◆◇◆◇ 前回の報告 ◆◇◆◇◆◇

日本語英国教会 St.Martin's

5月21日、日本語英国教会の発足10周年記念として、Leeds 大学病院のチャプレンでおられる郁子ウィリアムズ司祭司式と説教、St Michael's 教会 Camden Town のトム・プラント神父の補式による聖餐式が行われました。礼拝後はお祝いの親睦会を持ちました。大勢の方が出席して下さい、楽しい思い出が出来、良い節目を迎える事が出来ました。

礼拝では、ウィリアムズ司祭が「キリストのみ名により新しい永遠に続く命を授かる」とは一体どういう事なのかを、この日の福音書ヨハネ第15章1-8節にある、イエスの「まことのぶどうの木」の喩え話に合わせてお話をして下さいました。イエスは、決して「華やかな花を咲かせなさい」とは言わず、「豊かな実を結びなさい」と言っています。木に実がなると、それは鳥の餌になったり私達の食べ物になったり、益があり、喜びをもたらします。実が豊富であれば、より多くの喜び=愛を与える事が出来ます。パウロが後にガラテアの信徒に宛てた手紙にもあるように(5章22節)、霊の結ぶ実は愛であり、喜び、平和、寛容、親切、善意、誠実、柔和、節制です。枝が木に繋がっていないければ実が結ばず、実のならない枝は切り落とされてしまいます。私達はイエスのぶどうの木に繋がって豊かな実を結び、隣人に愛をもたらし互いに愛し合う生き方を心がけたいものです。しかし、人間には時に自己中心になりがちな本性があります。そんな弱さを悔い改め、イエスに繋がりたいという意思を持って繋がってさえいれば、枝の私達を切り落とす事なく、より豊かな実を結ばせて下さる事でしょう。イエスに繋がっているという事は、イエスの言葉と喜びが私達の内にいつもあるという事であり、それが永遠に続く命なのです。

10周年に相応しいお話でした。より多くの枝が伸びて、より多くの愛が実る様にこれからも成長出来ます様に願っています。

この機会に、いつも良いお話を沢山聞かせて下さり私達を導いて下さっている園田先生に、友美ちゃんお手製の素敵なカードに皆で寄せ書きをして感謝の意を表しました。また、皆の知らない所で数知れず多くの陰働きをして下さっている友紀さんにも、世話人会より御礼のカードをプレゼントしました。

遠藤淑子

◆◇◆◇◆◇ お祝いの言葉と祈り ◆◇◆◇◆◇

日本語英国教会の皆様、発足10周年おめでとうございます。私自身、寄留の外国人として、長く外国で生活したことがあり、その地にある教会の礼拝に出席していました。英語での礼拝自体は何も問題はありませんが、それでも、自分の深いところにある心や魂からの祈りには成り得ないといつも感じていました。それは、自分というものを形成している言葉の文化と無関係ではないからでした。婚約者を日本から呼び寄せて結婚式を挙げた時、すべて英語の式文でしたが、結婚の誓約だけは、日本語でさせていただきました。自分の心の底、自分のアイデンティティをしっかりとまた素直に表現できるのは、日本語だと思ったからでした。

日本に帰国して、日本語で礼拝をお捧げしたときの喜びと感激は今も忘れることはありません。

英国にお暮しの日本の方々が、自分の言葉で主を呼び求め、みことばを学び、礼拝をお捧げできるこの日本語英国教会の使命と働きは大変大きいと思います。

これまで、この尊いミニストリーのためにお働きくださった方々のゆえに、主に心から感謝をお捧げします。

また、いつも、日本の教会のためにお祈りくださっていることに、感謝いたします。

11年目に向かって歩いていかれる皆様の道の上に、主のみ守りとお導きと祝福をお祈りいたします。

日本聖公会首座主教 北海道教区主教 ナタナエル 植松 誠



I send heartfelt congratulations to the Japanese Anglican Church on the occasion of your tenth anniversary.

It has been a wonderful sign of God's grace to see this congregation grow and develop over the years, offering a spiritual home and encouragement for people in the Japanese community in London who are seeking truth and purpose through following Christ.

My prayers are with you and for you as you embark on the next ten years of your life together

The Bishop of Lichfield, the Right Revd Dr Michael Ipgrave



日本語英国教会の発足10周年に寄せて、心よりのお祝いを申し上げます。

おめでとうございます。そして、この働きを続けてこられたご努力に、心よりの敬意を表します。

2014年の3月、東日本大震災3周年の機会に、お招きくださったこと、そこでの礼拝や皆様との出会いは、忘れることの出来ないものです。わたしの生涯の中でも、本当に大きな出来事と思います。

さて、わたしの友人の一人がある時、こんなことを言いました。「教会は境界だ」！！日本語ですと洒落のように同じ響きになります。しかしとても宣教的な発言だったと思います。「教会の内と外」、信徒とそうでない方という分け方をどうしてもしてしまいますが、とくに日本のような状況においては、まさにその「境界」のところに、信徒ではないけれども、神を求めている多くの人々がいる、そういう人たち、そういう場こそ大事だという意味です。

日本語英国教会は、もちろん熱心な信徒の方々の集まりであると同時に、豊かな広がりをもった交わりでもあると思います。一つの教会論的なチャレンジであるように思えます。

どうぞこれからも喜びのある、生き生きとした交わりとして続いていかれますようお祈り申し上げます。

日本聖公会東北教区 主教 ヨハネ 加藤博道



日本英国教会皆様へ

「過去のあなたは小さなものであったが未来のあなたは非常に大きくなるであろう」（ヨブ記 8 : 7）

日本語英国教会発足 10 周年を心からお祝い申し上げます。10 年の間に教会のために一つになって喜びも悲しみも一緒にし、お祈り、奉仕を一緒にして来られた皆さんの上に神様の祝福をお祈りいたします。

今まで皆さんを導いてくださった神様は皆さんが今から新しい 10 年を向けて、新しい出発をすることを願っておられます。

特に、皆様のために説教やインフォーマルな聖書の学びで奉仕されてくださった園田先生の健康の回復をお祈りいたします。

近い時間に、皆さんをお会いしたいと思います。

日本語英国教会皆さん、もう一度英国教会発足 10 周年を心からお祝い申し上げます。

日本聖公会東北教区 司祭 ドミニコ 李贊熙



St Martin's 教会の地区担当であり、現ロンドン教区主教代理であるピート ブロードベント主教からカードと共に以下のメッセージを頂きましたことを報告させていただきます。

Yuki

My greetings to the Japanese Church on its 10th Anniversary on 21st May. It's good to see how things have developed.

Thank you for your leadership – and to Nick Henderson for hosting the church at St Martin's West Acton.

Sorry that I can't be with you on the days.

Prayer for the next stage on the journey.

Pete Broadbent

Acting Bishop of London and Bishop of Willesden

◆◆◆◆◆ 私達の 10年の歩み ◆◆◆◆◆

私達の集まりは St.Martin's 教会に所属し、ロンドン教区 Willesden 地区に含まれています。教区の規定に沿って、先日、信徒奉事者の Review の為の面談が指定されたコンサルタントと行われました。私達の今までの歩みを簡潔に述べる中、振り返る機会が与えられ、隠された沢山の恵みを改めて見いだすことができました。

考えると発足するまでの歩みが 3 年程ありました。多くの方々からの助言や協力を得て、発足に至りながらも、何年続けることができるだろうかは全く未知でした。年 3 回の集まりに加えて、折々にトミさん宅で聖書の学びをしたこともあります。そのうちに、7 月、8 月そして 12 月を除いて毎月に変え、子供たちの活動を始めて、本当に一年一年試行錯誤しながら積み重ねてきました。

長年聖書の学び、そして説教に奉仕をしてくださる園田先生ばかりでなく、聖歌の選択と奏楽、報告などのご奉仕をされている遠藤淑子さんはじめ世話人の方々、ティータイムを手伝ってくださるの方々、バザーやその他の特別プログラムに協力されたの方々、それぞれ名前を挙げれば切りがありませんが、本当に多くの方々のご支援と祈りがあって、歩んできているを心から感謝しています。

10 年前は娘がまだファーストスクールでしたので、宿題の関係もあって同行することができませんでした。朝、出かける前に夕食の支度をしてロンドンへ一人で向かっておりましたが、そのうち娘が同行し、次第に子供たちの活動を手伝ってくれるようになりました。毎回の集まりに参加されるお母さん達も子供達の勉強のことや家族の食事や用事を調整しながらやりくりされてきたと思います。参加されていないご主人や他の家族の了解と協力が陰ながらあったことも共に感謝したいと思っております。

お祝いの日ウィリアムズ郁子司祭とマークさん、トム神父と菜緒さんと愛栞ちゃんに加えて、特別に参加された St.Martin's 教会のジャッキーさん、数年前聖地のスライドを見せてくれたガイさん、St.Martin's 教会のメンバーですが遠路来てくれたホルト夫妻と共に祝うことができたこと感謝です。

主の導きを求めて、共に祈りながら共に主に在って歩むことができますように

ジョンソン友紀



6月25日午後1時45分から一時間、St.Martin's 教会のジャッキーさんと私で洗礼について学ぶ集いを始めます。現在、二人希望者がおります。また、明日香ちゃんが子供達の工作活動中にジャッキーさんと洗礼について学ぶ（英語のみ）予定です。いずれも各自の自由意志を尊重し、強制することは何もありませんこと、ご了承ください。ご参加ご希望の方（大人あるいは子供）は Yuki までお知らせください。



St.Martin's 教会のバザーのお知らせ

6月18日（第三の日曜日） 12時から 午後3時まで
当日バザーの献品をご持参できる方は、11時半から12時まで
お願いいたします。また、ご連絡をいただければ、13時までお持ち
ください。

日本語英国教会 West Acton

6月25日（日曜日）

午後3時から 5時まで

夕べの祈り

園田先生を囲んでのティータイム

場所：St. Martin's,

Hale Gardens, LONDON W3 9SG

皆様、お誘いあわせの上いらしてください。

Commissioned Lay Minister：ジョンソン友紀

120 Carthorse Lane REDDITCH B97 6SZ

携帯 07503 893880

yukifunakawa@btinternet.com

ブログ <http://blog.goo.ne.jp/jacuk>